

香芝市立鎌田小学校

令和四年十月十四日



学校だより

〈すべての命が輝く鎌田小学校〉



鎌田マスコットキャラクター
くずのつき m.m

第十五号

校長 杉村 幸恵

秋が深まってきました

ここ数日間で、一気に季節が進んだように感じます。朝晩と日中の気温差で体調も整いにくい時です。「早寝・早起き・朝ご飯」を心掛けながら、季節の変わり目を元気に過ごしてほしいと思います。さて、十月も中旬に差し掛かります。校外学習や修学旅行など、大きな行事が控えています。『○○の秋』といわれるように、落ち着いて取り組んだり、挑戦したりするにはふさわしい時ですね。

行事を通してステップアップを

運動会当日、鎌田小上空は美しいうろこ雲に覆われていました。



去る十月一日(土)、本年度の運動会を無事行うことができました。少しひんやりとした朝の空気も束の間。大変暑い一日となりましたが、たくさんの方々の応援を受け、子どもたちも一生懸命に活動することができました。

早朝よりお越しいただいた皆さま、また、当日はもとより、そこに至るまで様々な面でお力添えをいただきましたPTA役員の皆さま方に心よりお礼を申し上げます。

学校には運動会を始め、様々な行事があ



ります。この二年のコロナ禍で実施することができなかった行事も多々ありますが、子どもたちにとって学校での生活が魅力的であり、楽しく充実したものにするためには、やはり行事がもつ意味・意義は大きいと感じます。

少し堅苦しい話にはなりませんが、学校行事は学級や学校全体で協力し、日常の学校生活に秩序と変化を与えたり、集団活動や体験を通して自覚をもったり、友だちを尊重したり公共の精神を養ったりすることを目標としています。一見、子どもたちには楽しい活動で終わってしまいそうに感じることも、実は学校は、行事を通して、子どもたちの力や資質を育むことを目指しています。

先日の運動会では、各学年で取り組む競技もありましたが、二学年合同で行った演技や競技もありました。たった一学年違っただけでも、その競技に向かう目的や目指しているところが異なったりします。また、上級生は下級生をお世話したり、支えたりする姿もあつたと思います。その一面からも、運動会という行事を通して子どもたち一人一人が精一杯「いのちを輝かせる」ことができているように感じます。

最後まであきらめず丁寧に団体競技をやり遂げた子どもたちの姿や、下級生の走競技で、倒れたコーンを戻そうとタイミングを見計らっていた上級生の姿、また、折り返しながらもその倒れたコーンを必死で戻し、競技を続けた子どもたちの姿など、素晴らしい姿も多くみられた運動会でした。

これから校外学習に出かける一年〜四年生も、修学旅行に出かける六年生も、日常と異なる生活環境の中で、見聞を広めたり自然や文化に親しんだりすると共に、公衆道徳についての体験を積む機会としたいものです。その結果、校外学習という行事が子どもたちのステップアップする機会となり、どの子どもにとっても楽しい思い出になることを願います。

このように、行事は、日々の活動の延長線上にあることに加え、行事を通して付けた力や資質を日々の学校生活に活かしていく大切な活動です。

